

令和元年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 1月予報

【イチゴ】ハダニ類

寄生株率の高いほ場が確認されています。同一ほ場内でも局所的に発生するため、よく観察してください。天敵を導入したほ場で発生が抑制できない場合は、薬剤による防除を徹底した後、春先に再度、天敵を導入してください。

【施設野菜】灰色かび病

現在、発生は確認されていませんが、今後の気温は平年より高く、晴れの日が少ないと予報されており、本病の発生する可能性があります。枯死部位は本病の発生源となるため、早めに取り除き、ほ場外へ持ち出して処分してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(1月)

作物	病害虫名	1月(予測)	発生状況及び今後の予測	12月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、降水量は平年並～多いと予報されるため、発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病 発病果や枯死した果梗は見つけしだい除去し被害の拡大を防ぐ。 ・ハダニ類 ほ場内をよく観察し、局所的な発生に注意する。防除薬剤は同一系統の連用を避ける。
	うどんこ病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	並	調査ほ場により発生量に差がみられる。平年よりも気温が高く推移すると、発生が急激に増加する可能性がある。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。今後、曇雨天が続くと、発生すると予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・コナジラミ類 厳寒期でも低密度で生息しているため防除を徹底する。
	コナジラミ類	少	調査ほ場で発生が認められるが、発生量は少ない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
※キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種は発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ※12月調査は長期越冬型1月予報は半促成作型 ・べと病 暖房機や循環扇等を利用し、葉の結露時間を少なくする。また、罹病葉を取り除き、薬剤散布を行う。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。
	うどんこ病	少	調査ほ場で発病が認められる。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場では発病は認められない。降水量は平年並～多いと予報されているが、急激な増加はない。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温の低下により、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(ニーナ:うどんこ病、べと病、褐斑病耐病性)

施設野菜 灰色かび病

本病はトマトやイチゴの果実、莖葉、葉柄、花弁、ガクなどで発生します。果実に発生すると褐変または軟化・腐敗するため、出荷できません。また、トマトでは菌が侵入し、主茎を一周すると、株が枯死します。

この時期は、保温のため、施設を閉め切り、湿度が高くなります。気温が高く推移すると、暖房機の稼働時間が短くなり、トマトやイチゴの濡れ時間が長くなります。さらに曇天が続くと、感染好適条件となり、本病の発生が懸念されます。

本病の発生を確認した場合、感染部位が拡大する前に葉先枯れや枯死した花弁・果梗に発生した発病部位は除去してください。



トマト灰色かび病

数値データ

(調査12月:岐阜西濃地域)

作物	病害虫名	単位	R1	平年
イチゴ	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.1)
	うどんこ病	(発病株率)	0	(0)
	ハダニ類	(寄生株率)	10.7	(24.9)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0	(1.9)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
	灰色かび病	(発病株率)	0	(0.2)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	1.0	(2.1)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	0	(0.3)
	うどんこ病	(発病葉率)	1.0	(3.2)
	べと病	(発病葉率)	0	(5.6)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)
	コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0)

注1) イチゴは3ほ場、トマトは3ほ場、キュウリ(長期越冬型)は1ほ場調査

注2) ()内数値は平年値、株率、果率、葉率は%、頭数は頭

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(調査期間:12月1半旬~12月3半旬)

＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 12月26日)

向こう1カ月の平均気温は平年より高く、降水量は平年並～多く、日照時間は平年並～少ないです。平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。山間部では平年と同様に曇りや雪の日または雨の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767